

内閣府青年国際交流事業 日本人参加青年の選考について

※倍率は平成24年度の実績

	申込み・中間選考	第2次選考(内閣府)	最終選考(内閣府)	倍率 (募集人数/推薦者数)	
東南アジア青年の船	都道府県又は全国的青少年団体等に申込 ↓ 都道府県又は全国的青少年団体等において、それぞれ中間選考 ↓ 内閣府に推薦	①教養試験(択一、論文) ②面接試験 ③語学試験(英会話)	内閣府の行う事前研修(合宿形式)の結果を踏まえ、参加者を最終的に決定	3.7倍 (39/146)	2.4倍 (277/658)
世界青年の船		①教養試験(択一、論文) ②面接試験 ③語学試験(英会話)		1.5倍 (124/190)	
日中・日韓青年親善交流		①教養試験(択一、論文) ②面接試験		1.7倍 (50/85)	
国際青年育成交流		①教養試験(択一、論文) ②面接試験 ③語学試験(英会話)		3.6倍 (40/142)	
青年社会活動リーダー育成プログラム		①面接試験		4.0倍 (24/95)	

※ 教養試験の問題作成と論文試験の採点は、外部有識者(大学教授等)の協力を得て行っている。

※ 倍率の推薦者数は、都道府県等が選考後、内閣府に推薦した人数。